

公的空間活用と社会実験

— エリアマネジメント活動に寄与する —

我が国のエリアマネジメント活動は、2016年に全国エリアマネジメントネットワークが発足したことを受け、大都市だけでなく中小都市を巻き込み、様々な展開を見せています。一方、本ネットワーク会員から聞こえてくる声は、組織の制度的な位置づけや、組織を支える財源確保に関する課題です。

このような状況を打破する一歩として「公的空間活用と社会実験」が各地のエリマネ組織により実践されていますが、この社会実験は、行政とエリマネ組織が連携する形で行われるため、組織の制度的な位置づけや、公的空間活用による財源確保と深く結びついています。

本会では、「公的空間活用と社会実験」について調査研究を続けている泉山壘威氏から基調講演をいただくとともに、「公的空間活用と社会実験」を実践するエリマネ組織の方々から事例をご紹介いただき、現在の課題と今後の展望を議論します。

【日 時】 2017年10月12日(木) 13:30～16:30 (13:00開場)

【会 場】 イイノカンファレンスセンター RoomA

【プログラム】

13:30 開会 理事長あいさつ

小林 重敬 (一般財団法人 森記念財団 理事長)

13:35 基調講演「タクティカル・アーバニズムによるパブリックスペース利活用

- 利活用実験の先にあるプレイス・マネジメント -

講師：泉山 壘威氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 助教、一般社団法人ソトノバ共同代表理事・編集長)

14:15 休憩

14:30 パネルディスカッション「公的空間活用と社会実験の現在と展望」

モデレーター：小林 重敬氏 (横浜国立大学 名誉教授)

パネリスト：

河木 照雄氏 (豊田まちづくり株式会社 代表取締役、一般社団法人TCCM代表理事)

和田 真治氏 (南海電気鉄道株式会社 営業推進室 なんば・まち創造部長)

藤井 宏章氏 (特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会事務局長、三菱地所株式会社 開発推進部 エリアマネジメント推進室長)

松本 栄二氏 (森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部 運営部長)

16:30 閉会

【主催】一般財団法人 森記念財団

【募集定員】250名 (申込先着順)

【お申込先】<http://eventregist.com/e/vE11QDRx9cyD>

【お問い合わせ先】一般財団法人 森記念財団

【後援】全国エリアマネジメントネットワーク

【参加費】無料

Mailto:info@mori-m-foundation.or.jp Tel 03-6406-6800 (代表)





小林重敬氏

【現職】一般財団法人 森記念財団 理事長、横浜国立大学 名誉教授、全国エリアマネジメントネットワーク 会長、一般社団法人 新虎通りエリアマネジメント 顧問、特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会 理事長

【略歴】東京大学大学院工学研究科都市工学専攻博士課程修了。工学博士。横浜国立大学大学院教授、日本女子大学講師、規制改革委員会参与、参議院国土交通委員会客員研究員、日本都市計画学会会長などを歴任。これまで国土交通省等の多くの審議会に参加し政策づくりに関与、また東京の都市ビジョン、住宅マスタープランづくり、横浜の MM21 の開発、都心部のまちづくり方針、横浜駅周辺地区大改造計画、大阪駅うめきた開発のまちづくり、名古屋駅前まちづくりなどに関わり、さらに地方都市の高松市、長浜市、石巻市などの中心市街地活性化に参画。大阪版 BID 制度検討会委員長。主な受賞に日本都市計画学会石川賞(2007年、2010年)。主な著書に『最新エリアマネジメント』(学芸出版社 2015)、『エリアマネジメントー地区組織による計画と管理運営』(学芸出版社 2005)



泉山 呈威氏

【現職】 東京大学 先端科学技術研究センター 助教、一般社団法人ソトノバ共同代表理事・編集長、UDCO |アーバンデザインセンター大宮ディレクター、全国エリアマネジメントネットワーク事務局、認定 NPO 法人都市計画家協会理事、NPO 法人まちづくりデザインサポート事務局

【略歴】1984年、札幌市生まれ。明治大学大学院理工学研究科建築学専攻修士後期課程修了。博士(工学)。(株)アルキメディア設計研究所、明治大学理工学部建築学科助手、同大学助教を経て、現職。エリアマネジメントやパブリックスペース活用及び規制緩和制度、タクティカル・アーバニズムの研究及び実践に関わり、主なPJとして、池袋駅東口グリーン大通りオープンカフェ社会実験、厚木 FLAT PARK(公園サードプレイス実験)などを手がける。ほか、日本建築学会・戦略的パブリックスペース活用学【若手奨励】特別研究委員会委員長ほか委員として研究や政策提言に関わる。主な受賞に、「黒石市こみせ再生提案競技・保存修理部門—現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント— 優秀賞」。著書に「市民が関わるパブリックスペースデザイン- 姫路市における市民・行政・専門家の創造的連携-」(共著、エクスナレッジ、2015年)がある。



河木 照雄氏

【現職】 豊田まちづくり株式会社代表取締役、豊田商工会議所副会頭、豊田市駅前通り北地区再開発組合理事長、豊田市中心市街地活性化協議会副会長・統括タウンマネージャー、一般社団法人 TCCM 代表理事、あそべるとよた推進協議会会長

【略歴】愛知県豊田市生まれ。慶應義塾大学工学部卒。広域化する「クルマのまち豊田」で長年まちづくり、商店街活動に携わっている。豊田市中心市街地活性化協議会のタウンマネージャーとして、中活事業の推進機能を担うタウンマネジメント機関「TCCM (=豊田シティセンターマネジメント)」を設置し、大企業も巻き込んだ活発な活動を展開。本年 2 月法人化により、一般社団法人 TCCM として豊田市駅周辺のエリアマネジメントをめざす。



和田 真治氏

【現職】 南海電気鉄道株式会社 営業推進室 なんば・まち創造部長、大阪市交通局民営化特別参与

【略歴】1963年兵庫県姫路生まれ、1987年大阪市立大学商学部を卒業後、南海電気鉄道株式会社入社。経理部、グループ事業室、経営企画部などの企画関係部門を経て、現在は、昨年新設された「なんば・まち創造部」に在籍。道頓堀川の遊歩道(川ウォーク)を大阪市から指定管理を受けているほか、今年 80 周年を迎えた御堂筋の在り様についても地域の方とともに、検討中。また昨年、南海なんば駅前ひろば化の社会実験を担当。現在恒久化に向け、行政とともに協議中。大阪ミナミのエリアマネジメント団体「ミナミまち育てネットワーク」の運営にも携わる。南海ホークスのファンだった。



藤井 宏章氏

【現職】 三菱地所株式会社開発推進部エリアマネジメント推進室長、特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会 事務局長、全国エリアマネジメントネットワーク 事務局長、DMO 東京丸の内事務局

【略歴】1985年一橋大学法学部を卒業、三菱地所株式会社に入社。横浜みなとみらいランドマークタワー開発計画、丸の内再開発全体計画、丸の内仲通り改修計画、丸ビル建替計画の他、地域情報サイト「MARUNOUCHI.COM」の開発やストリートを使ったガーデニングショーの開催、地区就業者の交流を深める「倶楽部 2 1 号館」の開設、若手アーティストを発掘する「アートアワード東京」の開催等、丸の内エリアの環境改善・魅力向上を図る様々なソフト事業を企画・推進。その後、2008年より2013年までロンドンに駐在し、現地でオフィスビルの開発・管理・取得・売却に携わる。海外事業部門・不動産証券化事業部門を経て2016年4月にビル事業部門に戻り、大丸有エリアマネジメント協会事務局長に就任、現在に至る。



松本 栄二氏

【現職】 森ビル株式会社タウンマネジメント事業部 運営部長

【略歴】1988年早稲田大学理工学部建築学科を卒業し、大手建設会社にて不動産開発の企画業務に従事。1999年4月に森ビルに入社し、オフィスビル、住宅のマーケットリサーチ、商品企画業務などに従事。2009年1月より営業本部マーケティング室部長として、オフィスビル、住宅のマーケットリサーチ、商品企画業務などを統括。2013年7月より都市開発本部施設計画部担当部長として、都市再開発プロジェクトのプランニング業務に従事。2015年4月よりタウンマネジメント事業部部長として、2017年7月よりタウンマネジメント事業部 運営部長として、六本木ヒルズ、アークヒルズ、虎ノ門ヒルズのタウンマネジメント(街の運営)事業を統括。

「イノカンファレンスセンター RoomA」へのアクセス

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1

飯野ビルディング 4F RoomA

【利用可能路線】

- ・東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- ・東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2 出口 徒歩 5 分
- ・東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分
- ・東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5 番出口 徒歩 10 分
- ・JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩 10 分
- ・都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7 出口 徒歩 3 分

